

○YAMA 有限会社オオヤマ

2023 年度 環境経営レポート(26期)

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



発行日: 2025年5月28日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・建築工事の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10



近年、「グリーンインフラ」、「SDGs」、「脱炭素社会」といったキーワードで環境問題が地球規模での喫緊の課題であると再認識されています。温室効果ガスによる異常気象問題は年々深刻さを増し、身近な問題としては、夏季の異常な暑さによる「熱中症」や「ヒートアイランド問題」などが挙げられます。

国土交通省の提言するようにグリーンインフラの取組を通じて、人が自然とよりよく関わることのできる緑と水の豊かな生活空間を形成することが必要となってきました。

人と環境に配慮した生活空間の両立は、一見相反するものと考えられますが、それを可能にすることができるには「住」に大きくかかわる建設業ではないかと考えています。

有限会社オオヤマは、建築工事を通じて、快適な「住」環境の提供と、環境負荷の低減、持続可能社会への貢献を目指します。

環境経営方針

<環境経営理念>

ビジネスシーンには様々な力が必要です。弊社は市場やユーザー様のニーズを積極的に探し続けるだけでなく、お客様の立場に立ったご提案を行い邁進してきました。その中で、環境への配慮がお客様への配慮に通じるのではないかと、本業である建築工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

出来ることの一つひとつを、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 塗料や接着剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. その他に代表者が経営上取り組みたい活動を記載する。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
9. 従業員全員に周知する



制定日：2021年10月1日

代表取締役社長 大山 剛史

□組織の概要

作成日：2025年5月28日

- (1) 名称及び代表者名
有限会社 オオヤマ
代表取締役社長 大山 剛史
- (2) 所在地
本 社 兵庫県西脇市黒田庄町大門39-2
資材置場 兵庫県西脇市黒田庄町大門70
倉 庫 兵庫県西脇市黒田庄町大門324-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役社長 大山 剛史
担当者 総務部 山本 愛里 TEL：0795-28-3102
担当者 総務部 松原 小百合 FAX：0795-25-5500
- (4) 事業内容
建設工事業、土木工事業
- (5) 事業の規模
売上高 79,280 万円
- | | 本 社 | 資材置場 | 倉 庫 | 合計 |
|----------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|
| 従業員 名 | 15 名 | 0 名 | 0 名 | 15 名 |
| 延べ床面積 m ² | 230 m ² | 280 m ² | 587.37 m ² | 1097.37 m ² |
- (6) 事業年度 10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社 オオヤマ
対象事業所： 本 社
資材置場
倉 庫

対象外： なし
活動： 建設工事業、土木工事業

□事業や建築工事の紹介



特定建設業許可 兵庫県知事 許可（特-4）第353139号

- 建築工事業 ■ 土木工事業 ■ とび土工事業 ■ 水道施設工事業 ■ 管工事業
- 解体工事業 ■ 舗装工事業 ■ 水道施設工事業 ■ 管工事業 ■ 消防施設工事業

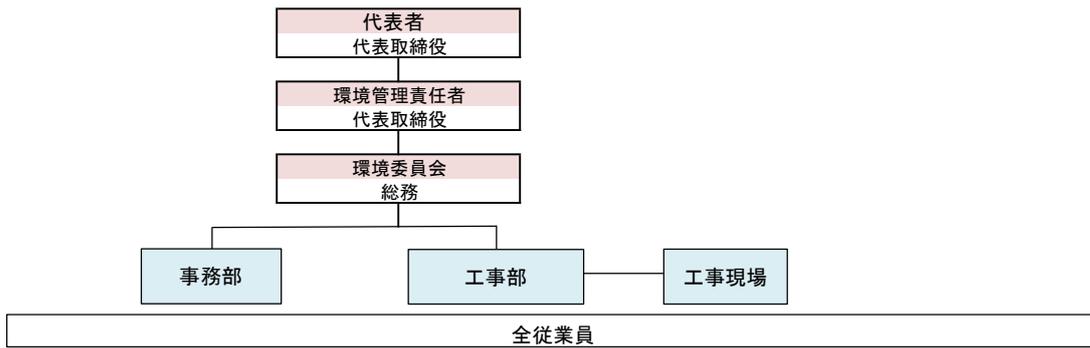
一般建設業許可 兵庫県知事 許可（般-4）第353139号

- 塗装工事業 ■ 電気工事業 ■ 管工事業
- 機械器具設置工事業 ■ 電気通信工事業 ■ 産業廃棄物の収集運搬処理業
- 常用及び非常用発電機、防災無線機器、消防無線機器の販売 ■ 建築資材、機械工具、金物販売

公共工事や民間工事を中心に、幅広く「住」に関わる建設業を営んでいます。

公共機関におけるトイレ改修や新築工事、また民間のお客様の御自宅の改修等、様々なニーズに対応致します。

また、今後は人と環境に配慮した工事の実現を目指すと共に、常に新しいことにチャレンジする姿勢をもって地域に根付いた会社を目指しています。



統括責任者・代表者

環境に関する統括責任者

環境管理責任者

環境に関する実行責任者

環境に関する内部監査の実施・代表者への報告

環境委員会

環境経営計画書の審議

環境活動実績の確認・評価

環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局

各種帳票の作成・データの取りまとめ

環境経営目標・計画書案の作成

環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理

環境関連の外部コミュニケーションの窓口

環境経営レポートの作成、公開

環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施

環境経営目標達成に向けた取組実施

環境関連法規等遵守の取組

緊急事態対応試行訓練の実施・記録

問題点の是正・予防

全従業員

環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚

決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	—	47,385	39,733
廃棄物総排出量	kg	—	860,321	216,491
一般廃棄物排出量	kg	—	300	300
産業廃棄物排出量	kg	—	860,021	216,191
水使用量	m ³	—	50	60

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO₂/kWh R2年度関西電力調整後排出係数
 ※負荷の実績は工事現場を含む。

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	2022年		2023年		評価	2024年	2025年
		(基準値)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,644	2,591	4,446	×	2,564	2,538	
	基準年度比		98%	168%		97%	96%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	42,681	41,827	31,275	○	41,401	40,974	
	基準年度比		98%	73%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	45,325	44,418	35,721		43,965	43,512	
一般廃棄物の削減	kg	300	291	300	×	291	288	
	基準年度比		97%	100%		97%	96%	
産業廃棄物の削減	kg	860,021	842,821	216,191	○	834,221	825,620	
	基準年度比		98%	25%		97%	96%	
建設副産物の再資源化率の向上	%	61%	60%	3%	×	62%	63%	
			98%	2214%		97%	96%	
水道水の削減	m ³	50	49	60	×	49	48	
	基準年度比		98%	120%		97%	96%	
環境に配慮した工事の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・工事の効率化 (事前に計画を立て施工前に準備を怠らない) ・作業ミスの防止 (新規入場者アンケート、危険予知活動実施報告書の徹底) ・顧客クレーム削減 (施工担当による綿密な事前報告の実施) 		12/12ヶ月	○	12/12ヶ月	12/12ヶ月	
		全月達成	全月達成			全月達成	全月達成	

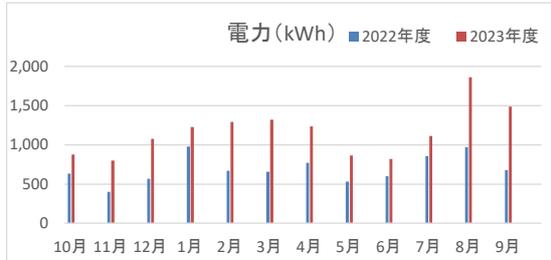
※EA21で対象とする化学物質の使用はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

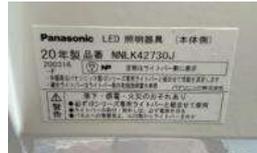
数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年に対して、夏場の高気温によりエアコンを使用する頻度が増えたように感じる。今後はエアコン使用時省エネモードで使用するなど、節電を、より一層心掛けたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・作業・業務の見直しによる効率化	△	

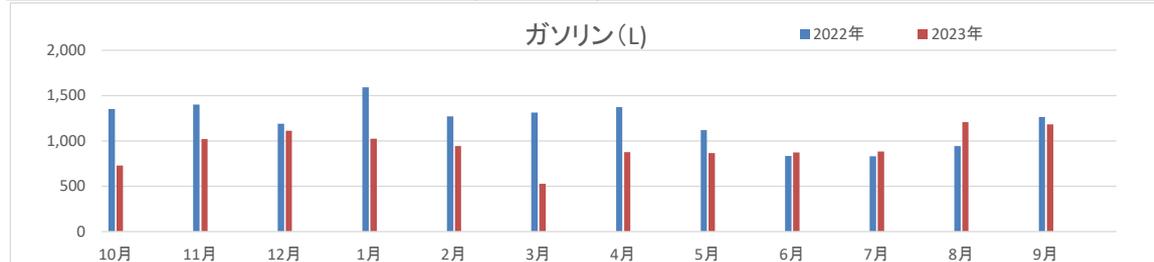


取組紹介欄

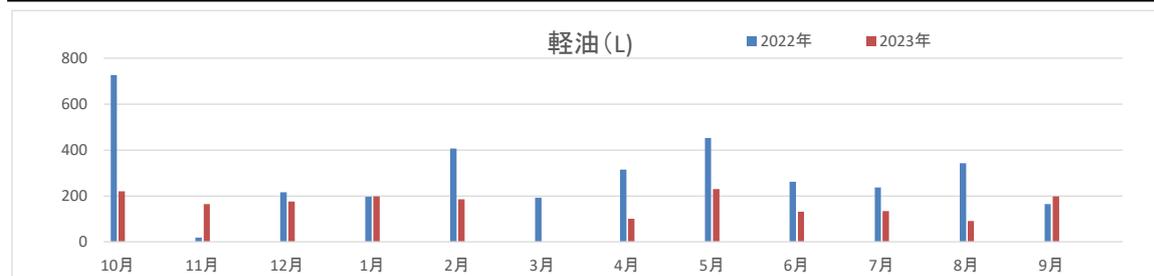


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年度	632	402	568	978	672	660	772	528	598	856	970	677
2023年度	879	799	1,075	1,227	1,293	1,322	1,237	863	822	1,114	1,862	1,488

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	タイヤの空気圧、車両管理(オイル交換等)をこまめに行い、急発進・急加速・急ブレーキなどしない安全運転の励行を行った結果、目標達成できた。今後も低燃費運転を心がけるよう徹底していきたい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで通勤・運転	○	

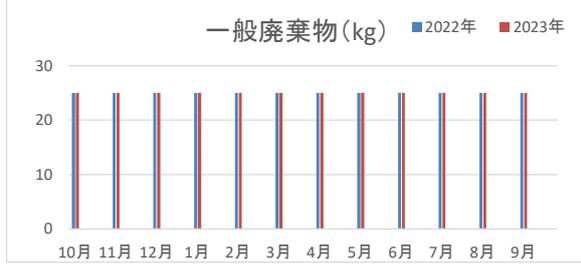


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	1,352	1,399	1,189	1,590	1,270	1,312	1,373	1,118	834	828	941	1,261
2023年	729	1,020	1,111	1,024	941	527	876	864	872	885	1,206	1,181



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	727	18	216	197	408	193	316	453	262	237	343	164
2023年	219	165	176	198	186	0	100	230	132	135	90	198

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今後は書類のペーパーレス・裏紙使用など再度周知し、一般廃棄物の削減に努めていきたい。さらにゴミの分別も再度周知し、廃棄物削減に取り組んでいきたい。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
・持込ごみの見直し	△	

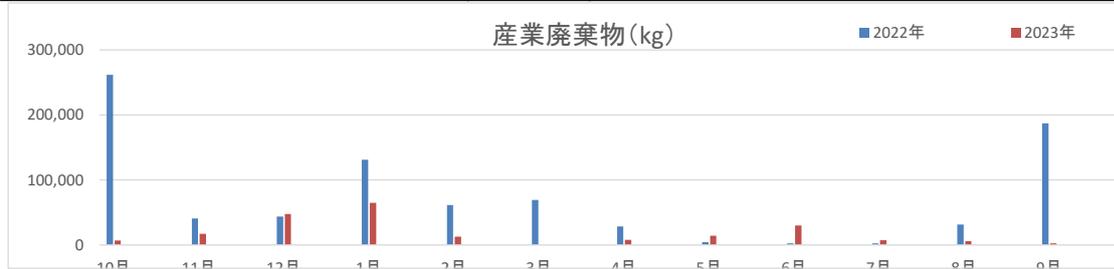


取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
2023年	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25

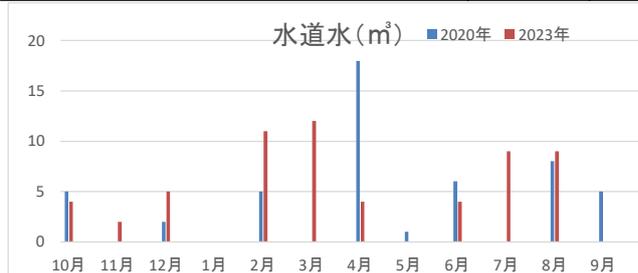
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標数値よりかなり産業廃棄物の排出量が多くなった。改修工事・解体工事の受注によって左右されますが、今後も分別ボックスを配置するなど取り組みを継続していきます。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	△	
・リサイクル業者の開拓	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2022年	261,487	40,392	43,568	131,188	61,416	69,248	28,270	4,160	2,080	2,080	31,300	186,912
2023年	6,690	17,316	47,420	64,970	12,520	0	7,893	14,250	29,952	7,400	5,570	2,210

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年では、道路工事が多くありましたが、今年度は道路工事が少なく、目標を達成することができなかった。次年度も引き続き取り組む。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	△	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年度内で社員の増減はありましたが、人数に変わりはない為他の原因が考えられます。今後も使用量を注視しながら節水に努めていきます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	5	0	2	0	5	0	18	1	6	0	8	5
2023年	4	2	5	0	11	12	4	0	4	9	9	0

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化(事前に計画を立て施工前に準備を怠らない)	○	KY活動を電子化することにより、危険予知活動実施報告書の徹底をすることができた。次年度も引き続き取り組む。
・作業ミスの防止(新規入場者アンケート・危険予知活動実施報告書の徹底)	○	
・顧客クレーム削減(施工担当による綿密な事前報告の実施)	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正保管・適正処理	遵守
建設リサイクル法	分別解体、建設副産物などの再資源化	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
下水道法	排水基準の遵守	遵守
大気汚染防止法	解体工事における石綿事前調査、発注者への書面説明、調査結果等の記録の作成・保存、特定粉じん排出等作業の結果の報告等	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷蔵・冷凍庫等の有無の事前確認 発注者への書面説明、書面の3年間保存	遵守
自動車Nox・PM法	排出基準への適合	遵守
家電リサイクル法	適正な引き渡し、再商品化に必要な料金の支払い	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2025年3月20日	■実施場所 資材置場
■参加者： 社長、専務、社員4名	■実施内容： ・消火訓練、避難訓練
■評価： 「火災対応手順書」の手順に基づき、消火器による初期消火訓練をはじめ、手順通りに訓練を実施。社員で手順を1つずつ確認しながら確実に実施することで手順書の有効性を確認。また、火災発生時の避難経路の確認を行った。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 1) 消火器期限確認・消火訓練	
	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024年9月13日	■実施場所 社内・資材置場
■参加者： 社長、専務、社員9名	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 「油類流出事故対応手順書」の手順に基づき、重機の吸着剤確認をはじめ、手順を共通認識させる。社員で手順を1つずつ確認しながら確実に実施することで手順書の有効性を確認。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 1) 重機の土嚢袋、吸着剤位置確認・社内安全大会での手順確認	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月1日

通年で、概ね運用に関しては問題はなかったように思うが、やはり近年の温暖化・寒冷化により、エアコンの使用量が増えた様を感じる。地球温暖化対策として、個々できるエネルギーの節約、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を生活にとり入れることが、課題である。

建設副産物の再資源化率の向上では割合として受注する建築工事により再資源化が困難なものも多く今回は未達成となった。今年度は自動車燃料の削減について達成月も多く今後とも継続的に環境保全活動を行い、二酸化炭素排出量削減に貢献して参ります。

また、工事受注の有無に関係なく、日頃から本社事務所の節電や節水、廃棄物の分別と適正処理を心がけ、社員一丸となり地球環境の保護と社会貢献活動への取り組みを支援していき、今後もエコアクション21の活動を進めていきたい。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

変更なし
 変更なし
 変更なし

変更あり
 変更あり
 変更あり

代表取締役 大山 剛史

□これまでの環境活動の紹介

・工事施工後、工事箇所近隣の清掃をおこなう



・地域の奉仕作業等に積極的に参加する

